

平成18年度 麻生区協働推進事業評価一覧表

新規・継続	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業目的及び内容	事業報告	実施主体	総合評価	今後の方向性	
1 芸術のまちを目指して										
1	継続	麻生音楽祭2006	3,320,000	3,286,489	地域振興課	6～7月に音楽グループによるコンサートやつどいを開催し、発表の機会を提供するとともに、区民や音楽家の交流(ネットワークづくり)と芸術文化の向上を図る。	2千人弱の参加者及び6千人強の来場者があり、合計8千人を超える人が参加する「芸術のまち・あさお」を代表するイベントとなっている。	麻生音楽祭実行委員会	芸術文化のまちづくりの核となる事業として、地域に根ざした活動をしており、麻生区の魅力を内外に発信することができる事業である。	区民主体の運営体制が軌道に乗り、滞りなく事業を遂行することができた。次年度以降は事業を実施しながら課題を検討し、改善につなげていく。また、昭和音楽大学との今後の連携について検討していく。
2	継続	あさおランチタイムコンサート	2,713,000	2,961,528	地域振興課	区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進する。奇数月第4日曜日 12:15～12:45 に区役所2階ロビーで開催。他、休日に区役所以外でも年2回開催。	一回につき200人強の来場者があるほか、移送サービスを利用して毎回来場する高齢者もあり、区民に期待されるコンサートとなっている。応募・出演したことのある音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりにも取り組み、自主的な拡充を図っている。	あさおランチタイムコンサート実行委員会	ランチタイムコンサート以外にも区役所外で行うネットワークコンサート、夕方の時間に開催するトワイライトミュージックなども取り組み始め、様々な形式により、いつでもどこでも誰でも音楽を楽しめる機会の提供に努めている。一方参加を希望する音楽家も増加傾向にあり、既存の開催回数ではかなりの団体が漏れてしまっていることから、音楽家の人材活用工夫が必要である。	出演者の協力も得ながら取り組んでいるが、現状のスタッフ体制では手一杯の状況にある。新スタッフや地域ボランティアの拡充に努め、内容を精査していく必要がある。また、音楽家・音楽愛好家相互の情報交換等を図り、より良いコンサートづくりに努める。
3	継続	えいぶるコンサートinあさお	600,000	557,908	地域振興課	幅広い世代を対象に、障害のある人にも気がねなく音楽を楽しむ機会を提供することにより、「音楽の街あさお」の一層の推進を図る。また、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できるコンサートとし、区民の交流を図る。	障害のある人とその付添人等が約350人参加し(400人収容施設)、過去2年間の実績を踏まえ、地域ボランティア等を中心に地域に根付いたコンサートになるよう取り組んだ。	えいぶるコンサート実行委員会	ノーマライゼーションの観点から健常者だけでなく障害のある人も良質な音楽を楽しむことができ、誰もが参加できる機会を提供することは必要である。今後は地域とのつながりを強化し、音楽の街あさおとして根付いたコンサートとしていく。	今後も必要な改善に取り組んでいく。地域とのつながりを増やし、障害者関係分野だけでなく、地域に開かれたコンサートとなるよう、実行委員会・スタッフ体制の充実を検討していく。
4	継続	第12回KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会	900,000	900,000	地域振興課	しんゆり映画祭の周知と芸術のまちづくりの推進を図るため、その一環事業である野外上映会の支援を行う。	本映画祭の前にある事業のため、広報の拡大や方法の検討が必要だが、開催場所柄家族での参加が多く、充実している事業である。	KAWASAKIしんゆり映画祭実行委員会	芸術のまちにふさわしい事業であり、区の魅力の向上、発信に意義ある事業となっている。	親子が楽しめる上映内容の検討を要する。また、野外上映会に付随して行っている屋台や夏祭り等の催し物が充実すると事業の魅力もさらに向上する。
5	継続	麻生区イメージソング普及事業	760,000	730,000	地域振興課	麻生音楽祭開催20回を記念して作成された「麻生区イメージソング」を、広く区民で共有するため、麻生音楽祭2006で発表するとともにCDを制作し、区民や区内の学校に配布し広く普及する。	麻生音楽祭や麻生区民祭りなどにおいて、区イメージソング「かがやいて麻生」をBGMとして流すとともに、区民にCDを無料配布した。また、年間を通して、学校、地域団体、公的機関等に配布し普及に努めた。	-	イメージソングに合わせたストレッチ体操が作られたり、区民まつりで歌われたりイメージソングが活用される機会が多くなった。	当初の目的を達したので、CD制作については終了とする。なお、引き続き、麻生音楽祭やその他の音楽イベントでの活用を行い、区民への普及を図る。
6	継続	麻生区中学校合同音楽会 - かなでようあさおの響き -	748,000	748,000	地域振興課	市の「音楽のまち・かわさき」事業に参画し「音楽の街・あさお」のまちづくりに寄与する。区内市立中学校8校生徒の音楽活動の成果を発表し、PTAや地域の方々と共に音楽を楽しむ場とする。合同演奏や音楽会運営を通し、8校生徒の連携と交流を深める。	生徒の音楽活動の成果を発表し、PTAや地域の方々と共に音楽を楽しむ場が提供できた。合同演奏や音楽会運営を通し、8校生徒の連携と交流を深めた。	かなでようあさおの響き実行委員会	麻生区市立中学校8校生徒の音楽活動の成果を発表し、PTAや地域の方々と共に音楽を楽しむ場を支援していく必要がある。	麻生区市立中学校8校生徒の音楽活動の成果を発表し、PTAや地域の方々と共に音楽を楽しむ場を確保することから、継続的な事業展開が必要である。

2 手をつなぐまちを目指して

7	継続	麻生区まちづくり推進事業	3,000,000	1,850,242	地域振興課	市民自治のまちづくりを推進するため、地域での市民活動の認知度を高め、市民活動の活性化や活動を支える環境の整備に取り組む。	企画審査部会の新設によって運営委員会と合わせ2段階で市民自らが企画の審査を行うこととなり、企画内容がより精査されることとなった。なお、市民の会全体の勉強会に重点を置いたため早くから活動を開始した「まちづくり学校」、「あさお落書き消し隊」を除く企画については、本格的な活動はできず、次年度の準備が主な活動内容となった。	麻生まちづくり市民の会	平成19年度以降は「団塊の世代」の地域への参加も期待され、まちづくりを推進する市民の力は急激に増大するものと予想される。そのために次年度以降の本格的な活動に繋げる活動を行えたことや、防災をテーマとした「麻生まちづくり学校」の活動は評価できる。	平成19年4月に麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」が開館したため、今後は連携を深めながら活動していく必要がある。具体的には、同館の会議室の使用や、既に企画として活動している「市民相談窓口」の開設の支援などフィールドとしての活用を行っていくこととする。その他、中間支援組織としての位置づけを重視していく。
8	継続	市民地域活動サポート事業	2,741,000	2,698,500	地域振興課	市民活動団体等の育成に寄与し行政区の推進を図るため、「麻生まちづくり市民の会」の事務局支援や区内で活動する市民活動団体等で行政と協働する必要性が高い事業が発生した場合のワークショップ開催の準備等への助言、相談、サポートを行う。	麻生まちづくり市民の会の事業執行に当たり、それぞれの分野で一定の成果を出し始めたことから、概ね事業目的が達成されたものと認められる。	-	今後も市民活動が活発化する中で、市民活動団体からの支援要請が増加する可能性もあり、こうしたニーズへの対応が求められる。	会議の運営や課題の整理等に関する支援を行った結果、市民活動団体等の活動の活性化、適切な事業推進に役立った。今後も市民活動が活発化する中で、市民活動団体からの支援要請が増加する可能性もあり、こうしたニーズへの対応が求められる。
9	継続	多文化共生のまちづくり事業	957,000	698,768	地域振興課	外国人市民が積極的、主体的に地域のまちづくりに参加できるようにし、その意見を行政区に反映できる活動を支援する。その活動を通じて、国籍や民族等の違いを認め合い、尊重しあうことのできる多様で豊かな地域社会(多文化共生社会)を目指す。	今年度から市民提案型によるパートナーシップ事業に取り組み、3件の企画提案を実施した。	-	平成8年度から国際交流事業としてイベントを中心に展開し、その間様々な見直しを行いながら進めてきたが、課題の掘り起こしについては十分でないように思われる。	市民パートナーシップ事業の効果を見極めつつ今後の展開を検討する。区民課との連携により既存の外国人市民情報コーナーの活用促進を検討し、効果的な情報提供手法を模索する。
10	継続	区民活動支援ルーム運営事業	499,000	493,646	地域振興課	区民の自主的に行う社会貢献活動を支援し、地域における区民の手によるまちづくり活動を推進する。	224団体による高い稼働率で利用され、効果的に運営された。	麻生区区民活動支援ルーム運営委員会	公設民営で効果的に事業運営が行われた。	市民交流館やまゆりの開設により、本事業における機能は移行される。
11	継続	麻生区世代交流事業	800,000	1,000,000	地域振興課	高齢者が地域活動に積極的に参加できる場の提供を目的とした麻生ハートフルエイジファッションショー及び若い世代の社会参加を促すヤングブリリアントファッションショーをそれぞれ実施することで世代間の交流を推進し、より豊かな麻生のまちづくりに寄与することを目指す。	ハートフルエイジファッションショーについて、今年度は神奈川県警との連携により反射材を使ったファッションショーも取り入れ、高齢者の夜間における交通事故防止に反射材が有効であることをアピールし好評であった。また、ヤングブリリアントファッションショーも含めて、高齢者同士あるいは、世代を超えた若年層と多くの交流が行われた。	麻生ハートフルフレンズ	総合的に見て、斬新な企画やアイデアによって注目度も高まっている上に、メディアの露出が増え、高齢者がおしやれをすることや違った世代との交流を深めた結果、明るく前向きになった。友人ができた等の喜びの声も挙がっている。元気になったと高齢者の家族からも大変喜ばれている。麻生区のイメージアップにも貢献している。	次年度については、事業の趣旨は変えずにハートフルエイジファッションショーにおいて今まで参加が少なかった男性モデルが参加しやすい工夫をし、男性シニアの参加の機会を充実させていく。また、ヤングブリリアントファッションショーは公募の方法を取り入れ、幅広い交流の場となるような仕組みを考えていく。
12	継続	あさおセミナー開催事業	130,000	0	地域振興課	法律相談に対する区民ニーズの増加に対応するため、法律の基礎的知識の習得を目的とした法律セミナーを開催する。	平成17年度に開催したセミナーの結果を見ると、個々の相談が多く区民に共通の話題が少なかったため実施しなかった。	-	-	-
13	継続	あさおスポーツフェスティバル	1,200,000	1,199,559	地域振興課	地域で区民が自主的に運営するスポーツ大会を支援すると共に、区民の健康と体力の向上、活力と躍進あるまちづくりに資する。平成18年度は13の大会が対象。	地域に根付いたスポーツフェスティバルとして評価されており、地域でのスポーツの場作り、交流の場として効果をおいている。	あさおスポーツフェスティバル実行委員会	小学生から高齢者の大会と、幅広い年齢層のスポーツ大会を支援しており、多くの区民の参加を得ている。	個々の大会の実情に合わせた支援を実施し、より多くの区民の参加が得られるように工夫していく。
14	継続	第17回あさお福祉まつり	2,850,000	2,850,000	地域保健福祉課	区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動をひろく区民に周知するとともに、体験学習などを通じてより具体的に福祉についての理解と関心を深める。	多数の区民が参加し、福祉に触れる場としての機能を果たしている。福祉関係団体、グループ等の参加は年々増加し、福祉関係団体の貴重な交流の場ともなっている。	麻生区社会福祉協議会	福祉制度や環境の変化、「地域のごとは地域で」という流れの中で、区民と地域福祉を結びつける貴重な場、機会となっている。	より多くの団体に参加してもらうため、事業実施スペースを拡張する。また福祉に関心を持つ学生など、より多くの年代に対し働きかけを行い福祉のまちづくりを推進する象徴的なイベントになるようにしていきたい。
15	新規	麻生区福祉のまちづくり推進モデル調査研究事業	2,552,000	2,551,500	地域保健福祉課	あさお福祉計画推進会議が行う麻生区らしいモデル事業の調査研究業務推進に対する支援事業を実施する。	地域の多様な人々との交流を図ることができた。特に障害者との交流もでき、お互いの距離感を縮めるための契機になった。また、活動する人たち同士の自立的な交流の場としても、成果の一つとしてあげられる。	-	小地域での拠点(場所)を確保し、そこで事業を実行する中で、計画や理論・根拠を構築、蓄積しつつ、評価を行い、次の計画に反映することで、本実施事業に活かす「試行事業」として実施した。	現状のモデル事業を継続しつつ、運営委員会や推進会議の意見を取り入れ、「第2期福祉計画」策定のため、見直し・改善を含め検討、判断し、地域主体の事業計画の達成を図る。
16	継続	親子ハーモニランドinあさお	1,231,000	1,469,350	保健福祉サービス課	子育てに関する事業の企画、運営、情報提供を区民と保健福祉センター、市民館、地域子育て支援センター、保育園等が協働で行う。交流会・学習会の企画、実施。子育てガイドブック「ハーモニランド」改訂版作成。子育て情報誌「ハーモニランド通信」定期会の実施。	子育てやその支援のための交流会や学習会を企画し、毎回多数の参加があった。また「子育てガイドINあさお」「ハーモニランド通信」等の情報誌の発行を行った。	親子ハーモニランド企画委員会	「親子ハーモニランドinあさお」の活動は、子育て中の区民やその支援に関心の深い区民が、行政と協働し、活動を行う場である。事業内容が多様化する中で、今後も、区民のニーズに対応できるように検討していく必要がある。	区民のニーズを把握し、それに対応できるような交流会・学習会・情報提供の方法を「ハーモニランドinあさお」のメンバーが各立場から評価・検討し、企画・運営をしていく必要がある。
17	新規	麻生区子育て支援事業	1,305,000	1,050,212	子ども総合支援担当					
17-1		子ども情報コーナー事業		563,462	子ども総合支援担当	区役所各課で提供していた子どもや子育てに関する冊子・パンフレットなどを集約し、一元的に情報を提供する。また子育てサクル等の区民の自主活動の情報も併せて提供し、区民及び転入者の子育て支援を行う。	区役所2階ロビーに楕円形のテーブル1台、イス6脚、子ども用イス2脚を設置し、子ども情報コーナーを設けた。この中で、子どもや子育てに関する計画・調査などの報告書や保育園等の入園案内や区内の子育て支援センター便りなど子育てに関する資料を閲覧等ができるようになっている。	-	子育て支援の観点から必要性の高い事業である。また、定期的な情報の更新のみで特別な予算を必要としない効率性の高い事業であると言える。	今後も現状どおり継続するが、コーナーで提供する資料の一層の充実が必要である。
17-2		麻生区マタニティコンサート事業		102,000	子ども総合支援担当	出産を控えた妊婦のリラクゼーションを図ることを目的として、昭和音楽大学卒業生を中心とした演奏家のコンサート及び保健福祉センターの助産師の妊娠中の生活のワンポイントアドバイスをを行い、妊娠中からの子育て支援の一環とする。	母子健康手帳交付時や両親学級に参加した妊婦と配偶者に直接PRを行い、昭和音楽大学の卒業生を中心にプロの演奏家によるコンサートを開催し、60人の参加があった。	-	子連れでも参加できるコンサートは身近にないため、手軽に参加でき、音楽がリラクゼーションにつながる体験をしてもらえたことは、子育て支援のひとつで有効だったと考える。	音楽の分野は広いが、楽器や声楽など様々な分野や季節感や癒しの側面に配慮したコンサートを企画していきたい。

	新規・継続	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業目的及び内容	事業報告	実施主体	総合評価	今後の方向性
17-3		麻生区子ども関連ネットワーク会議		38,570	こども総合支援担当	麻生区における子ども関連団体、グループや関係機関の連携を図るとともに、子育てや子どもの育成を地域全体で支援するため、情報交換やネットワーク化に向けての協議等を行う。	麻生区役所における子ども関連団体、グループ、関係機関が一同に会してネットワーク会議を行い、現状や課題を共有することができた。	-	ネットワークを構築していくためには、現状や課題の共有と今後に向けての方向性を示し、活動を実践していくことが重要と考える。地域の人のつながりと子どもの遊びを通した育ちの支援を継続した課題として協議していく。	平成17年度以降の積み上げの中で、学童期の遊びを通した育ちの支援について協議していくことになった。学童期の子どもたちの現状とニーズの把握を行い、地域での支援体制を構築していく。
17-4		小学校・昭和音楽大学交流コンサート事業		100,000	こども総合支援担当	公学連携の活動のひとつとして、昭和音楽大学の大学院生が区内の小中学校に出向き、小学校でコンサートを行ったり、小学生に歌や楽器の指導を行うことで、小学生に良質な音楽に触れる機会を提供し、さらに小学生と大学院生の音楽による交流を通して、地域社会づくりに貢献する。	虹ヶ丘小学校(声楽4人とピアノ1人を派遣)では、5～6年生を対象に卒業式に向けての校歌指導と歌のコンサートを実施した。また真福寺小学校(木管五重奏の演奏者を派遣)では、6年生を対象に演奏と木管演奏の指導を行い、小学生と大学院生との交流を図ることができた。	-	麻生区の地域づくりのひとつとして、また、児童が良質な音楽に触れることは、子どもの健全育成につながると思える。	平成18年度は2小学校だったが、19年度は4小学校が決まっており、今後、順次、他の小学校も実施していく予定。
17-5		子育て人材バンク事業		246,000	こども総合支援担当	区内にいる子育て支援に関する資格や特技を持つ人材を活用し、区内の子育て支援グループ等の支援を行い、地域の子育てを地域全体で支援する。	子育ての支援を行う者(子育てボランティア)と支援を受ける者(子育てグループ)それぞれが子育て人材バンクに登録し、支援を受ける者の依頼により、子育て人材バンクが条件に合致するボランティアを派遣する事業を行った。18年12月から開始し、ボランティア12人、子育てグループ16組の登録があった。	NPOかわさきココロ	12月からの実施だったが、ボランティア登録をする人の子育て支援に対する熱意、利用者の活動の充実に向けてのニーズが把握でき、提供できたことは地域の子育て支援につながった。	利用団体がより利用しやすいように、ボランティア派遣の利用回数を増やす熱意、利用者の活動の充実に向けてのニーズが把握でき、提供できたことは地域の子育て支援につながった。
18	継続	区政・地域情報提供事業	2,327,000	2,007,075	総務企画課	麻生区の地域情報等を広く区民に提供するため、人口・教育・子育てなどの様々な視点から捉えた統計をまとめた「あさお統計白書」を作成し、その周知を行う。	麻生区の様々な課題に関する各種統計データを収集し、クイズ形式で紹介する「麻生ノススメ」を作成した。併せて区のホームページにも掲載した。	-		
18-1		麻生区統計白書作成業務		1,575,000	総務企画課	麻生区の地域情報等を広く区民に提供するため、人口・教育・子育てなどの様々な視点から捉えた統計をまとめた「あさお統計白書」を作成し、その周知を行う。	麻生区の様々な課題に関する各種統計データを収集し、クイズ形式で紹介する「麻生ノススメ」を作成した。併せて区のホームページにも掲載した。	-	一般に行政が作成する統計書の類は数字が並んでいるものばかりで手にとってもらえない状況にある中、今回は一人でも多くの人に手にとってもらえる冊子を作成することを大きな目標の一つに掲げてきた。その点についてある程度成果が得られているが、今後は冊子を手にとってもらった後のステップとして「麻生区のイメージアップにつながる話題づくり」等について検討する必要がある。	統計調査の多くが5年に1度の周期で行われているため、白書の内容を毎年度改訂し、その都度掲載データを更新していくことは難しい。こうした状況から判断すると隔年もしくは3年に1度の作成が望ましい。また配布対象、掲載内容については統計調査員を対象に行った簡易アンケート調査の結果等を踏まえ、慎重に検討していく必要がある。
18-2		平成18年度麻生区役所ホームページ更新事業		303,450	総務企画課	麻生区ホームページの更新作業に当たり、市民にとって分かりやすいホームページとなるよう専門的技術を有する事業者から、技術的助言を受け、また、コンテンツの作成を委託する。	麻生区のホームページの更新作業を行うに当たり、トップページのバナーを作成し、また、きつぱページのコンテンツを作成した。	-	ホームページの更新作業については、区民ニーズの多様化から様々なコンテンツを作成する必要がある。技術的に専門的知識を有する者の協力が不可欠であることから妥当な事業である。	掲載情報を充実させ、高齢者、障害者等にも配慮したページを作成していることから、区民ニーズを満たしていると思われる、今後も継続していく。
18-3		麻生区役所ホームページ運用研修		128,625	総務企画課	麻生区ホームページの更新作業に当たり、区職員のホームページ作成能力の向上を図るための研修を実施する。	区職員に対してホームページ作成研修を4回を行い、区職員のホームページ作成能力の向上を図った。	-	所管課の職員の能力向上により、所管課で直接更新作業を行えることから、更新作業が早く行うことができ、区ホームページを有している以上、必要な事業であると思える。	所管課の職員は本来業務を抱えている中で、OJTによる研修が困難であることや、ホームページの利用が今後益々増えることが予想されることから、どの所管課であっても、能力の向上を図ることが必要であり、今後も継続する。
19	新規	麻生区広報広聴戦略会議運営事業	1,495,000	2,481,318	総務企画課	平成17年度に実施した市民調査研究を受けて、麻生区の広報広聴事業について、学識経験者や一般区民を交えて、調査検討を行う。	区民あて無作為抽出により区の広報に関するアンケートを実施し、このアンケート結果等を踏まえて、今後の区の広報に対する方向性を示した報告書の作成を完了した。	-	区内部だけの検討では分からない部分が把握できたことで有意義な事業であった。	アンケートの実施及び報告書の作成完了により、戦略会議の役割は終了したと考える。
20	継続	麻生区広報発信事業	3,976,000	3,967,036	総務企画課	麻生区の行政情報を区民に周知するに当たり、市民調査研究によると市政だよりと同等以上に区民に浸透しているタウン紙等を活用することにより、広報の充実を図る。	タウン紙の紙面買取りを行い、行政情報を従来よりも広く区民に対して広報することができた。	-	市の広報媒体として麻生区についていえば効果がある結果が出ており、広報の重要性に鑑みると妥当な事業といえる。	従来よりも行政情報が区民に浸透した成果が現れているので、今後も継続していく。
21	新規	麻生区ホームページモニター事業	530,000	529,200	総務企画課	田園調布学園大学と連携した事業を展開し、高齢者や障害者の視点から区HPのコンテンツや使い勝手について意見を収集し、区HPの改善につなげる。	今までインターネットに馴染みがない高齢者(モニター)を対象に、パソコンの使用方法を講習し、その後区ホームページを見てもらい、区ホームページの見易さ等について、	-	概ね、区のホームページは好評であり、現状のホームページのレベルを維持していくことができれば、区民ニーズに沿うことが確認できた。	モニターの結果、現状の区ホームページのレベルを維持していることが求められていることが把握できたため、今年度で事業を終了する。

3 緑とふるさとのまちを目指して

22	継続	体験農業 - 親子で米づくり -	1,000,000	999,222	地域振興課	米づくりの作業を通して親子の絆を深めるとともに、食の大切さ、農業の尊さを実感し、麻生区の地域特性である都市と農業の共生について考える機会を提供する。	作業を通して農業についての理解も深まり、親子で一緒に作業をする事により、絆を深めるといふ目的も十分に達成できたと思われる。	体験農業実行委員会	地域特性を活かした麻生区独自の事業であり、農業や麻生区を理解する上でも大きな成果をもたらしている。今後も麻生区の魅力を発信するために貴重な事業である。	より事業効果が高められる体制作りを進める一方で、事業そのものが田んぼ近隣の開発事業に大きく影響を受けることが予想され、その展開を踏まえて今後の事業について検討する。
23	新規	麻生里地・里山保全推進事業	715,000	715,000	生涯学習支援課	麻生区に残る里地・里山の魅力を未来に継承するため、里地・里山カフェ塾の開催、ネットワーク通信等の発行、フォーラムの開催等の事業を展開する。	里地・里山カフェ塾を8回、里山フォーラム in あさおを開催し、地域の里地・里山の環境を保全するための啓発を行った。	里山フォーラム in 麻生世話人会	麻生区内の自然環境保全についての活動団体・個人が集まる機会を提供しており、地域の里地・里山保全推進に向けての活動交流が促進され、有効な中間支援組織体となっている。	地域の里地・里山保全推進に向けて、様々な手法によって、広く一般の関心を喚起し、環境問題に関する意識を高めてきた。今後も現状と課題を分析しながら、身近な緑の保全について考えられるような事業を進める。
24	継続	道水路用地植栽事業	1,005,000	578,550	建設センター	不法投棄の温床となっている道水路用地の地元団体と協力を図り、植栽活動を実施し魅力ある区づくりを推進する。	地元の方々に道水路余剰地を提供し植栽を委託することにより地域の美化につながった。	-	事業開始から3年が経過し、美化及び不法投棄の抑制について一定の効果は得られている。	事業目的に対して一定の成果は得られたので事業は終了するが、今後も自立した活動が行えるよう支援していく必要がある。
25	継続	ふるさとあさお再発見	300,000	300,000	地域振興課	区民から愛され、親しまれる「ふるさと」づくりを目指し、地域に伝わる財産を風化させず、後世に継承していくよう伝統・伝承文化などを広く紹介するため、区民と協働し、麻生区に伝わる文化を再現する「ふるさとあさお」を提供する。	麻生区に伝わる七草粥(300食)を再現し、あさお古風七草粥(がゆ)の会において、区民に供した。	麻生区文化協会	伝統・伝承文化などを区民に広く紹介することは、これらの地域に伝わる財産を風化させず、後世に継承していく事業目的に対する成果は得られている。	地域に伝わる財産を風化させず、後世に継承していくという観点から継続的な事業展開が必要である。
26	継続	あさお観光資源の発掘調査事業	400,000	399,840	地域振興課	区内の観光資源を発掘し、麻生の魅力を育て広く情報発信するため、編集企画・立案を含め調査研究を実施。	観光協会の調査研究委員により、情報発信に当たっての基本的な計画(経過報告書)をまとめた。	麻生観光協会	新総合計画の施策計画、「新たな観光振興」を目指す中、この調査・研究は、区内の観光資源をまとめた貴重な資料となる。また、観光協会の強化育成の観点からも有意義な事業であり、事業目的に対する成果が得られている。	2年間にわたる観光資源の発掘調査研究を行い区内の基本的な発信内容が整理された。平成19年度は、この情報を基に更なる詳細設計を実施し、(仮称)あさお観光ガイドブックを発刊する。また、この事業実施の成果による観光協会の充実と自立に向けた行政支援を行う。
27	継続	麻生区自然エネルギー活用促進事業	583,000	539,807	地域振興課	区役所屋上等に設置された、太陽光発電設備を活用し、イベント、講演会等を開催するなど自然エネルギーの活用、環境問題の啓発活動を実施する。	地球温暖化防止などの環境問題を総合的に学習し実践することで、緑と自然豊かなまちづくりを推進することができた。	麻生区自然エネルギー活用促進実行委員会	区民主体の発行委員会として、積極的な活動展開があり適正に事業実施できた。	区民主体での啓発活動をより活発化し、出前講座や講演会を行っていき、また、大学連携を活用して講演会やイベントを検討していく。
28	継続	あさおガイドマップ増刷改訂事業	1,275,000	845,250	地域振興課	「麻生区ガイドマップ」を転入する区民を中心に配布するため改訂・増刷する。	このガイドマップは、区民が必要とする区内の情報を掲載したもので、転入者を中心に多くの区民に配布した。麻生区ガイドマップは区のイメージアップをかねて、イメージソング「かがやいて麻生」の歌詞と譜面を掲載した。	-	麻生区ガイドマップの内容を改訂・増刷することにより、区民の利便性の向上を図ることができた。	麻生区ガイドマップは、今後も年1回のペースで内容を修正しながら発行していく。

4 親しまれる区役所を目指して

29	継続	区役所窓口サービス充実改善事業	4,859,000	4,339,243	総務企画課 区民課 保険年金課	例年3月から5月にかけて区役所窓口が大変混雑するため、この混雑解消と区民サービス向上のための届書、申請書の記載方法や受付窓口を案内する「窓口案内係」を配置する。また、窓口カウンターをローカウンターに改修し、イメージアップを図るとともに、窓口表示板等を設置することで、市民が来庁した際に、目的の課にスムーズにたどり着けるよう	窓口案内係を配置したことにより、来庁者を長時間待たせることなく混雑の解消が図れた。また、ローカウンターに改修したことにより、区民の方と座って対応できることでイメージが良くなった。	-	市民に対する公的サービス向上は、あらゆる事業に求められている。このことから、窓口の混雑解消と市民サービスの向上、イメージアップのため、必要な事業であり、その目的は果たされている。	麻生区は、マンション、住宅の建設が進んでいる。したがって、住民異動が今後も多くなることが予想される。3月から5月にかけて窓口混雑は今後も続くことが予想されることから、混雑解消、イメージアップ等のため、現事業は継続する必要がある。
30	継続	イメージアップ推進事業	2,000,000	2,885,799	区役所各課			-		
30-1		区シンボルマーク等普及事業		2,051,595	総務企画課	「しんゆり・芸術のまち」、「音楽のまちあさお」などといった麻生区を持つ良いイメージを更に高めるため、区のシンボルマーク、「しんゆり・芸術のまち」のロゴマークのシールや封筒などを作成し、区民に配布する。	区のシンボルマーク、「しんゆり・芸術のまち」のロゴマークのシールや封筒などを作成し、区役所内すべての課で区民あてに送付する際にこの封筒を使用することで、シンボルマーク等の浸透を図った。	-	麻生区の良いイメージを高めていく目的からすると、多くの区民に対してPRできるので、妥当な事業である。	

	新規・継続	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業目的及び内容	事業報告	実施主体	総合評価	今後の方向性
30-2		長沢中・桐光学園全国大会出場横断幕掲出		56,700	地域振興課	区のイメージアップを図るため、スポーツの分野で全国大会に出場するなどの高い成果を上げた学校などに対し、その出場を祝い、また区民に広報することで麻生区のイメージアップを図る。	陸上部女子走り幅跳び・女子バレーボール部(市立長沢中学校)及びサッカー部(桐光学園高等学校)の全国大会出場に伴い、両校を応援する横断幕を作成し、区役所庁舎に設置した。	-	スポーツ全国大会出場に伴う行政としての広報及び応援ができ、来庁者や公共交通機関利用者など幅広く周知できた。	スポーツ全国大会出場に伴う行政としての広報及び応援ができ、一定の成果はあるが、出場校と協議してより充実した内容を今後、検討する必要がある。
30-3		市民休憩所緑化事業		558,600	地域振興課	遊休地を休憩所として整備することにより、地域住民のふれあいの場を提供し、地域コミュニティの醸成を図る。	遊休地を休憩所として整備を行い、その植栽管理や清掃を住民自ら行うことにより、地域主体のまちづくりを推進し、地域のイメージアップを図った。	-	地域住民の憩いの場として活用することができた。	休憩所としての機能的整備を実施したので、今後は地域住民自らが植栽管理や清掃を行うなど、住民主体の活動へ移行していく。よって、本事業を終了する。
30-4		大型表示パネル修繕業務等		218,904	総務企画課	区民課及び保険年金課において、来庁者にとって、スムーズに窓口で手続きができるように設置した大型表示パネルとカウンターコールの修繕を行う。	大型表示パネルとカウンターコールの修繕を行い、来庁者がスムーズに窓口で手続きができるようになった。	-	区役所の窓口サービスの充実を図る点から、妥当であると考える。	-

5 区民発意や地域課題に即応できる区を目指して

31	継続	緊急・地域課題対応事業	7,236,000	3,295,981	区役所各課			-		
31-1		心が響きあう地域づくり事業		1,978,725	総務企画課	麻生区区民会議では「心が響きあう地域づくり」を地域課題として取り上げ、調査審議を行っている。その中で区民会議委員から様々な提案が出され、地域課題の解決に向けて、その提案内容に沿った事業を行う。	地域で社会貢献活動している団体の取組をタウン紙で紹介し、また、それぞれの団体の活動を支援するため、懸垂幕やバトロール用の腕章・ベストを作成を行い、地域課題の解決に向けた活動を行った。	-	区民会議は区民と行政が協働して課題解決を図るものであり、区民会議でなされた提案を実現し、地域課題の解決に向けた活動ができた。	今回の事業はこれで終了するが、今後も、区民会議からの提案に応じて、地域課題の解決に向けた事業を実施する。
31-2		麻生区市民活動支援施設開設準備事業		1,317,256	地域振興課	麻生区を生活、活動の場とする人々の交流と支援のための施設として開設する麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」の開設当初の運営を円滑に行うための準備業務を行う。	麻生区市民活動支援施設を開設するに当たり、帳票類、施設案内等の広報、必要備品の準備、開設式典の事前準備、利用登録者及び運営スタッフに対する説明会の開催などを行い、円滑な開設を行うことができた。	あさお市民活動サポートセンター	当事業による準備により、麻生区市民活動支援施設のオープンが円滑にできたことについて評価できる。	当事業は麻生区市民活動支援施設開設のための準備事業であるため、施設の閉館に伴い事業を終了する。

6 共通事務費

32	継続	事務費等共通経費	993,000	1,009,460	総務企画課 地域振興課	協働推進事業実施に伴う、事務用品費等の購入	事業運営に際し、円滑な事務を推進することができた。	-	事務処理を円滑に進める上で、適正である。	協働推進事業の円滑で効率的な実施のため、今後も共通事務費の適正・効果的な執行に努め、更なる区民サービスの向上を図っていく。
合 計			55,000,000	49,938,483						